

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	17	+2	1.00	174	+11	1.00
	30日死者	1	-2	0.06	19	-16	0.11
	30日以内死者	18	+0	1.06	193	-5	1.11

全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	466	+2	1.00	3,706	-163	1.00
	30日死者	88	+8	0.19	667	-41	0.18
	30日以内死者	554	+10	1.19	4,373	-204	1.18

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の 倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は19人(-16人)、「24時間死者」は174人(+11人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は193人(-5人)であり、「24時間死者」の1.11倍の比率となっている。

(3) 特徴(30日死者の構成率)

地区別 阪神8人(42.1%)、西播4人(21.1%)、東播2人(10.5%)、但馬2人(10.5%)、神戸1人(5.3%)、淡路1人(5.3%)、高速1人(5.3%)の順で発生している。

状態別 自転車乗中11人(57.9%)、歩行中5人(26.3%)、自動二輪乗中2人(10.5%)、自動車乗中1人(5.3%)の順で発生している。

年齢層別 65歳以上が12人(63.2%)、25~64歳が5人(26.3%)、16~24歳が2人(10.5%)の順で発生している。

経過日数別 10日以内の死亡が11人(57.9%)である。

損傷部位別 頭部の損傷が17人と89.5%を占めている。